

デーリー東北

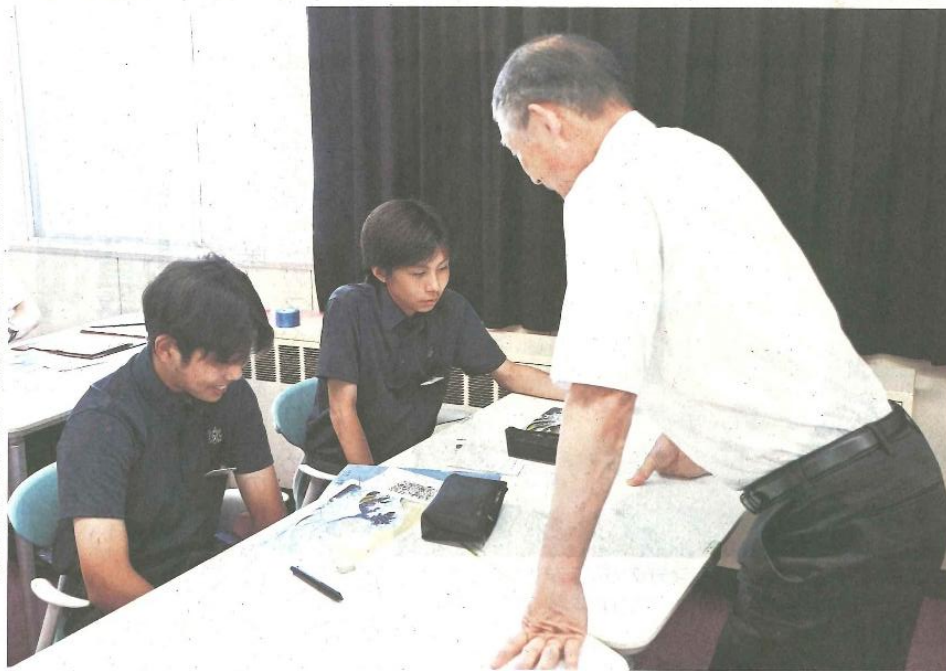
2026年(令和8年)8月18日(火曜日) (10)

最先端の研究すごい

六戸学園8年生、大学見学会

八戸

六戸町立義務教育学校六戸
学園(二ツ森牧彦校長)の生



「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」の特徴を学ぶ生徒

徒による大学見学会がこのほど、八戸学院大と同大短期大学部、八戸工業大で行われた。8年生97人が国際や保育、ロボットなど各分野の講義を受講し、最先端の研究に触れた。

将来の進路選択に役立ててもらおうと、町教委が毎年実施している。

八戸学院大と同大短期大学部では、生徒が四つのグループに分かれ、持続可能な開発目標(SDGs)や幼児保健を専門とする教授らの講義を受け、基礎を学んだ。

続けて八戸工業大を訪問。感性デザイン学部の石毛清八教授の講義では千円札に描かれている葛飾北斎の「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」の構図について考えた。一枚の絵にさまざまな三角形の位置関係が組み込まれていることを教えられ、生徒たちは驚いていた。

大学の見学は初めてという吉本佳央さんは「校舎もすごく広くてびっくりした。授業はちよっと難しかったけれど、新鮮だった」と話した。

(田村純也)

※この記事・写真等は、デーリー東北新聞社の承諾を得て転載しています。